

第3回 外国メディアとの懇談会「Japan Business Update」

開催日：2017年10月12日(木) 場所：日本外国特派員協会

来賓：金尾幸生 帝国ホテル 取締役常務執行役員(兼帝国ホテル東京総支配人)

経済広報センターは12日、日本外国特派員協会(FCCJ)と協力し、会員企業と在京外国メディアとの懇談会シリーズ「Japan Business Update」を開催した。「Japan's Ultimate Hotel Operation by the Imperial Hotel Way」をテーマに、東京・日比谷の帝国ホテルで、金尾幸生取締役常務執行役員(兼帝国ホテル東京総支配人)が海外の有力メディアのジャーナリストらと懇談し、同ホテルの各種施設を紹介した。

「Japan Business Update」は、わが国経済界の対外情報発信強化の観点から、2016年に開始したもので、今回が3回目となる。

金尾氏は、同ホテルが海外からの賓客や要人を迎える日本の「迎賓館」として1890年に開業したこと、今年、同ホテル旧本館を設計した米国の建築家フランク・ロイド・ライト氏の生誕から150年を迎えたことを説明。さらに、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には開業130年を迎えることから、「世界の人々に当ホテルを知っていただく機会として、大いに期待する」と述べ、「日本を代表する歴史と伝統のあるホテルとして、2020年とその先を見据え、独自の強みや魅力をさらに磨き上げていきたい」と強い意欲を示した。ジャーナリストらは、ライト氏が内外装等に利用した「大谷石」や「テラコッタ(素焼きの建材)」の壁面などを残したバーや特別な客室へも案内され、熱心に撮影したり質問したりしていた。

当日は、CNN(米)、ハンデルスブラット(独)、ARDドイツテレビ(独)、パン・オリエントニュース(米)、プレスTV(イラン)などから9名のジャーナリストらが参加した。

以上



懇談する金尾取締役(中央)。
左はカルドン・アズハリFCCJ会長、
右は渡辺晴子FCCJ特別企画委員会委員長。